

2014年度

総 会 議 案 書

日時 2014（平成26）年 5月24日（土）

午前10時00分

場所 川越市立博物館 視聴覚ホール



かわごえ環境ネット

総 会 次 第

1. 開会
2. 理事長あいさつ
3. 議長選出
4. 議事
 - (1) 議案第1号 2013年度事業報告について
 - (2) 議案第2号 2013年度決算報告及び会計監査報告について
 - (3) 議案第3号 役員改選について
 - (4) 議案第4号 会則改正について
 - (5) 議案第5号 2014年度事業計画について
 - (6) 議案第6号 2014年度予算について
5. 議長解任
6. 閉会

議案第1号
2013年度事業報告について
1. 主な事業

事業一覧

| 年 月 日 | 事 業 内 容 |
|----------------|---|
| 2013年 4月 1日 月) | 月刊かわごえ環境ネット4月号 (No.078)発行 |
| 2日 火) | 池辺公園定例活動 |
| 8日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 植物調査 |
| 22日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 植物調査 |
| 30日 火) | 県民参加生き物モニタリング魚類調査 番田堀(り用水路) |
| 5月 1日 水) | 月刊かわごえ環境ネット5月号 (No.079)発行 |
| 7日 火) | 池辺公園定例活動 |
| 13日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 植物調査 |
| 19日 日) | 新緑の雑木林 自然観察会 |
| 25日 土) | 2013年度総会 市立博物館視聴覚ホールにて 出席36名 委任75名 計111名) 懇親会 どんぐりの樹」にて 参加者 18名) |
| 27日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 保全活動 |
| 29日 火) | 高階北小学校学習支援 (1/28も実施) |
| 30日 水) | 県民参加生き物モニタリング魚類調査 郭町・新城下橋) |
| 6月 1日 土) | 月刊かわごえ環境ネット6月号 (No.080)発行 |
| 2日 日) | 川の一斉水質調査に協力 市内 31か所) |
| 4日 火) | 池辺公園定例活動 |
| 10日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 植物調査 |
| 11日 火) | 上戸小学校学習支援 |
| 13日 水) | 県民参加生き物モニタリング魚類調査 小堤・八幡水路) |
| 15日 土) | 環境月間 環境啓発展 環境プラザ (つばさ館)で開催 来場者304名) |
| 16日 日) | 環境月間ポスターコンクール 市主催)と同時開催 |
| 18日 火) | 県民参加生き物モニタリング魚類調査 小堤・八幡水路) |
| 24日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 保全活動 |
| 7月 1日 月) | 月刊かわごえ環境ネット7月号 (No.081)発行 |
| 2日 火) | 池辺公園定例活動 |
| 7日 日) | キノコの観察会 |
| 8日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 植物調査 |
| 10日 水) | 節電カフェ 福原小学校 家庭教育学級) |
| 17日 水) | 仙波河岸史跡公園植物調査 |
| 21日 日) | 郊外クリーン活動 |
| 22日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 保全活動 |
| 28日 日) | 虫の観察会 |
| 8月 2日 金) | 月刊かわごえ環境ネット8月号 (No.082)発行 |
| 4日 日) | 「エコプロダクツ川越2013」に出展 (エコ暮らし、生物多様性の保全と再生) |
| 6日 火) | 池辺公園定例活動 |
| 18日 日) | キツネノカミソリ観察会 |
| 9月 2日 月) | 月刊かわごえ環境ネット9月号 (No.083)発行 |
| 3日 火) | 池辺公園定例活動 |
| 7日 土) | 環境施設めぐりバスツアー 江戸東京博物館ほか 参加者31名) |
| 9日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 植物調査 |
| 12日 水) | チョウの実地観察会 |
| 23日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 保全活動 |

| | |
|-----------------|---|
| 2013年 10月 1日 火) | 池辺公園定例活動 |
| 3日 木) | 月刊かわごえ環境ネット0月号(No.084)発行 |
| 6日 日) | 2013アースデー・イン・川越 立門前」に参加 |
| 14日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 植物調査 |
| 17日 木) | 仙波河岸史跡公園植物調査 |
| 19日 土) | 川越まつりまち美化活動 20日も実施) |
| 28日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 保全活動 |
| 11月 5日 火) | 月刊かわごえ環境ネット1月号(No.085)発行 |
| 5日 火) | 池辺公園定例活動 |
| 7日 木) | 狭山丘陵見学バスツアー 参加者25名) |
| 9日 土) | 第13回北公民館かんきょう祭り」に参加 |
| 11日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 植物調査 |
| 16日 土) | 環境講演会 かしこいエコ暮らし」北公民館 参加者27名) |
| 25日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 保全活動 |
| 12月 1日 日) | 月刊かわごえ環境ネット2月号(No.086)発行 |
| 3日 火) | 池辺公園定例活動 |
| 9日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 植物調査 |
| 14日 土) | エコドライブ教習会 (川越市と共催) 農業ふれあいセンター |
| 23日 月) | 歳末まち美化活動 |
| 23日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 保全活動 |
| 2014年 1月 1日 水) | 月刊かわごえ環境ネット月号(No.087)発行 |
| 7日 火) | 池辺公園定例活動 |
| 13日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 植物調査 |
| 27日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 保全活動 |
| 2月 3日 月) | 月刊かわごえ環境ネット2月号(No.088)発行 |
| 4日 火) | 池辺公園定例活動 |
| 9日 日) | 第9回川でつながる発表会」に協力 |
| 10日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 植物調査 |
| 22日 土) | かわごえ環境フォーラム 来場者85名) 午前の部 :環境活動報告会、午後の部 :ワークショップ 基調講演(分科会)、ポスター展示 |
| 24日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 保全活動 |
| 3月 1日 土) | 月刊かわごえ環境ネット3月号(No.089)発行 |
| 4日 火) | 池辺公園定例活動 |
| 7日 金) | 環境講座 霞ヶ関公民館 |
| 10日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 植物調査 |
| 24日 月) | 仮称)川越市森林公園計画地 保全活動 |

| | | |
|------|-------------------|-------|
| 【会議】 | 理事会 | 12回開催 |
| | 広報委員会 | 12回開催 |
| | 社会環境部会 | 12回開催 |
| | 自然環境部会 | 12回開催 |
| | 事業運営委員会 | 11回開催 |
| | かわごえアジェンダ2.1推進委員会 | 2回開催 |

2. 総括及び全体事業

2013 年度は、本会の目的である「川越市環境基本計画に基づき、市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよう、協働して行う事業について情報提供や調整を図ることにより、地域ぐるみで本市の望ましい環境像実現のための取組を活発にすること」に基づいて、継続的な改善を図りながら事業を実施しました。

さらに、全体事業の実施主体の明確化と事業のさらなる推進を図るため、「事業運営委員会」を設置して事業を実施しました。

全体として充実した事業を実施できましたが、毎年恒例の事業が多く、新規事業はエコプロダクツ川越 2013 への出展などにとどまりました。また、懇親会の開催やソーシャル・ネットワークキング・サービスを活用した交流事業、広報を通じた普及・啓発事業を事業計画に掲げたものの、十分に実施できませんでした。

以下に、本会の基本方針として取り上げた 5 つの事業に沿って、主な全体事業を示します。

- (1) **【交流事業】** 2 月 22 日に環境プラザ「つばさ館」において「第 12 回かわごえ環境フォーラム」を実施し、環境活動報告会並びにフォーラム（基調講演、分科会）を実施しました。その他、交流行事として 5 月 25 日の総会後に懇親会を開催しました。
- (2) **【普及・啓発事業】** 6 月 15・16 日に「第 2 回 環境月間 環境啓発展」を環境プラザ「つばさ館」において実施し、実物展示や体験展示などにより、市民に対する環境行動の普及啓発を図りました。また、ボランティアの機会の提供と地域への啓発のために、まち美化活動を 7 月 21 日（郊外）・10 月 19・20 日（川越まつり）・12 月 23 日（中心市街地）の 3 回実施しました。さらに、行事への出展として、8 月 4 日の「エコプロダクツ川越 2013」、10 月 6 日の「2013 アースデイ・イン・川越 立門前」、11 月 9 日の「第 13 回北公民館かんきょう祭り」、2 月 9 日の「第 9 回川でつながる発表会」において、ポスター出展及びかわごえアジェンダ 21 チェックシートを実施しました。
- (3) **【調査事業】** 全国的な調査日に合わせて、6 月 2 日に「川の一斉水質調査」を実施し、31 か所の調査地点における COD（化学的酸素要求量）と EC（電気伝導率）を調査しました。また、埼玉県の実業である「県民参加生き物モニタリング調査」等の自然環境調査を実施しました。
- (4) **【学習支援事業】** 高階北小学校、上戸小学校の児童を対象とした自然学習支援、福原小学校家庭教育学級での「節電カフェ」の実施を通じて、学校の環境学習を支援しました。また、市民の学習の場として講演会・見学会・自然観察会などの行事を各専門委員会の主催により多数開催しました。
- (5) **【広報・情報事業】** 「月刊かわごえ環境ネット」を年間 12 回発行して、本会や会員が主催した行事報告、会員紹介や会員等からの活動報告、イベント情報等を掲載し、情報の蓄積と情報共有を行いました。また、Web サイトの運営とともに、ソーシャル・ネットワークサービスである「Twitter」「Facebook」を利用して、行事案内を中心とした情報提供を行いました。さらに、かわごえ環境フォーラムの開催に合わせて『かわごえ環境活動報告集』を発行し、市民・事業者等の環境活動に関する情報の集積を図りました。

3. 広報委員会

毎月の広報誌発行を中心に、本会・会員団体等の活動紹介に努め、一定の役割を果たしました。まだまだ本会の活動と存在意義のPRが不十分ではありますが、例年行事をどう紹介し、市民参加の糸口になる工夫が今後とも求められています。

①月刊かわごえ環境ネットの毎月12回の発行

自然環境部会のメンバーを中心に「川越の自然を訪ねて」(第7回～第18回)を連載し、広報委員が担当した記事として『「エコプロダクツ川越」に参加した事業者を訪ねて』を3回連載しました。「特別寄稿」としてかわごえ環境フォーラムで基調講演をされた福岡義隆先生(2月号)、ドイツに長期滞在された中口毅博先生(3月号)にご寄稿いただきました。また、本会が主催したイベントだけでなく、他の組織が主催したイベントに参加した会員の報告や会員からの報告を多数掲載しました。会員が主催するイベントに関するお知らせについても掲載に努めました。

月刊かわごえ環境ネットの年間のページ数は計182ページとなりました。そして、毎号500部を発行し、全会員への郵送のみならず、川越市内の小・中・高等学校、全公民館、図書館、市民会館等の出先機関のほか、市役所各部局と記者クラブ等にも配達し、行政とのパートナーシップ実現のため、また、本会の存在を広く知ってもらうため努力しました。

②インターネットによる情報発信

インターネットの活用としては、5月にWebサイトをリニューアルして、スマートフォンでも快適に閲覧できるようにしました。また、Webサイトに月刊かわごえ環境ネットのPDF版を掲載し、会誌を届けられない多数の方に活用いただけるようにしました。情報の更新は、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)であるTwitterで知らせました。また、一部の記事の更新や行事の報告をFacebookページに掲載してユーザーの拡大に務めました。

4. 社会環境部会

2013年度の社会環境部会は、①独自事業、②本会全体事業への参画、③団体活動・個人活動にそれぞれ積極的に取り組み、成果を出すことができました。

①独自事業

1) 環境施設見学会 9月7日(土)実施

行先：江戸東京博物館・東京臨海広域防災公園・日本科学未来館 参加者：31名

今回は、開催を土曜日にしたこと、比較的ポピュラーで関心のある場所であったこともあり、多くの方に参加していただきました。江戸時代の官・民の暮らしの様子、庶民のエコ暮らし等、身近に再現された博物館、震災時の対応策、近未来の科学技術等、多彩な勉強ができました。

2) 環境講座「かしこいエコ暮らし」(地球温暖化の脅威とあなたができるエコ暮らし)

講師：宮崎環境エネルギー研究所 代表 宮崎誠氏 場所：北公民館 出席者：27名

地球温暖化の脅威、地球温暖化防止対策、再生可能エネルギーの普及、身近な省エネ・かしこいエコ暮らしについて講演しました。地球規模の課題から、世界の情勢、日本の現状、そして身近なエコ暮らしまで、大きな課題があることを知らされました。

3) エコドライブ教習会 環境政策課との共催 12月14日(土)

川越市環境政策課と共同主催行事で、小瀬理事長が開会の辞を行うとともに、自らが受講者としても参加しました。社会環境部会からは、指導員2名他、司会、交通整理等の業務を担当しました。

②全体事業への参画

- 1) 第2回 環境月間 環境啓発展 6月15日(土)～16日(日) 場所: つばさ館
- 2) エコプロダクツ川越 2013 8月4日(日) 場所: つばさ館
- 3) 2013 アースデイ・イン・川越 立門前 10月6日(日)
- 4) 第13回北公民館かんきょう祭り 11月9日(土)

1)～4)の行事に対し、部会として全面的に参画し、それぞれが、各所で業務分担し、責任を全うしました。その際、多くの人と交流し、成果をあげました。

③団体活動・個人活動

社会環境部会メンバーが、団体活動で参画した事業、または独自で行った環境活動関連事業を、月刊かわごえ環境ネットに掲載した原稿の表題を引用して以下に記します。

- 1) かわごえアジェンダ 21 チェックシート調査
- 2) 緑のカーテン啓発活動
- 3) 今年もクールスポットの活用でエコ
- 4) 北公民館かんきょう祭りでの桜草配布
- 5) 霞ヶ関西小学校川遊び支援
- 6) 全国一斉川の生き物調査と川の保全
- 7) 新河岸川の清掃と景観保全活動
- 8) まち美化活動の紹介
- 9) エコキッズクラブ支援
- 10) 市民講座・元素を知って環境や健康を考えよう
- 11) 北公民館における菜園講座
- 12) 霞ヶ関西小学校野菜づくり支援
- 13) 知って得する我が家の省エネ術
- 14) 環境ネットの出会いと活動報告
- 15) 私の環境活動あれこれ

5. 自然環境部会

川越市でも社会・経済の変化に伴い、自然環境に関しては田畑の休耕や売却、樹林地の売却など土の見える大地は減り続けています。このような状況で在来の自然を遺すのはそう簡単ではありません。世界的にも生き物環境は劣化しており、生物多様性保全の取り組みが動き出しています。

自然環境部会は、発足当初から川越の水と緑の保全再生をテーマにしてきましたが、2010年度からはこれを生物多様性保全に置き換えています。以下に2013年度の報告をします。

(1) 行政とのパートナーシップについて

埼玉県の間民参加生き物モニタリング調査に協力しました。5年間の調査が終了しました。川越市の動植物データベース作成が始まり、枠組み・データ提供などの協力をしました。

(2) 調査活動について

水生動植物に関しては、鯨井周辺水路、小堤八幡水路などの湧水ポイントでの調査を3回実施しました。「(仮称)川越市森林公園」計画地では毎月定例での動植物調査を行い、新たに絶滅危惧種も見つかりました。池辺公園は毎月定例で、仙波河岸史跡公園は3回ほど調査しました。また、市民環境調査として「チョウの調査」に協力しました。安比奈親水公園では研修会を実施しました。

(3) 保全再生活動について

「(仮称)川越市森林公園」計画地・池辺公園では、在来種や絶滅危惧種などの保全再

生活動を毎月定例で実施しました。

(4) 自然観察会

市民に川越の自然を楽しみながら知ってもらうために、「(仮称)川越市森林公園」計画地、池辺公園などで観察会を行いました。虫の観察会は子どもたちに好評でした。どの会も初参加の人が多く、広める効果はあったと思われます。

(5) イベント

田んぼの生き物調査とバスを利用した「狭山丘陵探索ツアー」を行いました。どちらも貴重な体験ができたとの感想がありました。

(6) 学校教育支援

自然環境教育の一環として、高階北小は春と秋の2回、上戸小は6月に学校教育支援を行いました。どちらも学年単位なので人数が多く、こちらもパワーが必要でした。

この他、全体に関わるものではエコプロダクツ川越 2013、第12回かわごえ環境フォーラムなど部会としての対応がありました。多くの方々のがんばりで何とか達成できたかと思えます。

6. かわごえアジェンダ 21 推進委員会

市民向けのイベントや講座、大学において『環境に配慮した行動チェックシート（市民編）』（以下、チェックシート）アンケートを実施し、196名から回答を得ました。アンケートを実施した人に対して、環境に配慮した行動の啓発を図るとともに、結果を集計することによって、環境に配慮した行動の普及状況を把握しました。また、川越市が発行する『平成25年度版 かわごえの環境（第7号）』の「市民・事業者の環境への取組状況」に、前年度のチェックシートの集計結果及び川越市における本会等の協働事業を掲載しました。さらに、平成27年度に目標年度を迎える第二次川越市環境基本計画及び川越市環境行動計画『かわごえアジェンダ 21』の見直しに向けた勉強会の企画を検討しました。

議案第2号

2013年度決算報告及び会計監査報告について

収入

単位：円

| 項 | 目 | 予算額 | 収入済額 | 差引 | 説明 |
|-----|-----|-----------|-----------|--------|---|
| 会費 | | 223,000 | 220,000 | △3,000 | |
| | 会費 | 223,000 | 220,000 | △3,000 | 個人：1,000円×102人、民間団体等：2,000円×59団体 |
| 委託金 | | 60,000 | 60,000 | 0 | |
| | 委託金 | 60,000 | 60,000 | 0 | 県民参加生き物モニタリング調査委託金 |
| 補助金 | | 400,000 | 400,000 | 0 | |
| | 補助金 | 400,000 | 400,000 | 0 | 川越市より補助金 |
| 協賛金 | | 150,000 | 175,000 | 25,000 | |
| | 協賛金 | 150,000 | 175,000 | 25,000 | 協賛金 25,000円×7社（バイオニア㈱・初雁興業㈱・㈱環境総合研究所・トーヨーケム㈱・武州ガス㈱・武州製薬㈱・川木建設㈱） |
| 積立金 | | 0 | 0 | 0 | |
| | 積立金 | 0 | 0 | 0 | |
| 繰越金 | | 256,395 | 256,395 | 0 | |
| | 繰越金 | 256,395 | 256,395 | 0 | 2012年度より繰越 |
| 諸収入 | | 73,038 | 105,065 | 32,027 | |
| | 諸収入 | 73,038 | 105,065 | 32,027 | 参加費 105,000円（社会環境部会 61,000＋自然環境部会 44,000）、利息65円 |
| 合計 | | 1,162,433 | 1,216,460 | 54,027 | |

支出

| 項 | 目 | 予算額 | 支出済額 | 差引 | 説明 |
|-----|------|-----------|---------|----------|----------------------------------|
| 事業費 | | 418,000 | 491,616 | 73,616 | |
| | 活動費 | 146,000 | 200,876 | 54,876 | 部会活動費、パネル製作費、年会費、サーバ更新料、保険料他 |
| | 報償費 | 102,000 | 95,000 | △7,000 | 講師謝礼 |
| | 交通費 | 110,000 | 135,740 | 25,740 | バス借上げ代他 |
| | 県事業費 | 60,000 | 60,000 | 0 | 県民参加生き物モニタリング調査事業費 |
| 会議費 | | 3,000 | 0 | △3,000 | |
| | 会議費 | 3,000 | 0 | △3,000 | |
| 事務費 | | 537,000 | 474,959 | △62,041 | |
| | 需用費 | 341,000 | 321,547 | △19,453 | かわごえ環境活動報告集印刷代、コピー用紙代、コピー代、インク代他 |
| | 役務費 | 196,000 | 153,412 | △42,588 | ゆうメール、はがき代、切手代他 |
| 積立金 | | 0 | 0 | 0 | |
| | 積立金 | 0 | 0 | 0 | |
| 予備費 | | 204,433 | 0 | △204,433 | |
| | 予備費 | 204,433 | 0 | △204,433 | |
| 合計 | | 1,162,433 | 966,575 | △195,858 | |

収入済額)1,216,460円－ 支出済額) 966,575円 =249,885円 (2014年度へ繰越)

上記のとおり決算報告いたします。

かわごえ環境ネット
理事長 小瀬 博之

会計監査報告

2014年4月25日に2013年度かわごえ環境ネットの会計監査を実施したところ、適正に執行されていたので、これを報告いたします。

2014年4月25日

かわごえ環境ネット
監事 鎌田 政稔
監事 佐野 康子

議案第3号
 役員の改選について
 役員の改選(案)
 理事

| 氏名 | 会員区分 | 再任・新任 |
|----------------------|--------------------|-------|
| あんどう ゆうき 安藤 裕貴 | 個人 | 再任 |
| きくち みつお 菊地 三生 | 個人 | 再任 |
| こせ ひろゆき 小瀬 博之 | 個人 | 再任 |
| すぐる まさし 過 昌司 | 個人 | 再任 |
| ふたみ まさのり 二見 正憲 | 個人 | 新任 |
| むらかみ まさあき 村上 正明 | 個人 | 再任 |
| いいじま ほまれ 飯島 希 | 民間団体（こどもの根っこを育てる会） | 新任 |
| かねこ あきら 金子 晃 | 民間団体（川越 巨樹・古木の会） | 再任 |
| かまた まさとし 鎌田 政稔 | 民間団体（川越中央ロータリークラブ） | 新任 |
| はらしま しょうじ 原嶋 昇治 | 民間団体（南小畔親水クラブ） | 再任 |
| よこやま みえこ 横山 三枝子 | 民間団体（福原ファームクラブ） | 再任 |
| いしかわ かずお 石川 一男 | 事業者（川越環境保全連絡協議会） | 再任 |
| みのわ しんいちろう 箕輪 信一郎 | 行政（川越市） | 再任 |

監事

| 氏名 | 会員区分 | 再任・新任 |
|-----------------|------|-------|
| いたの とおる 板野 徹 | 個人 | 新任 |
| さの やすこ 佐野 康子 | 個人 | 再任 |

議案第4号 会則の改正について

- 1 会則改正の理由 表記の適正化を図るため、改正を行うものである。
- 2 会則改正の内容 規定の整備を行うもの。

～会則改正（案）～

| 現 行 | 改 正 案 |
|--|---|
| <p>(事業)</p> <p>第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員相互のパートナーシップとネットワークを形成するための事業に関すること。 ・ 会員それぞれが役割を理解し協働して行う事業に関すること。 ・ 環境に関する情報提供および普及啓発に関すること。 ・ その他目的達成のために必要な事業に関すること。 <p>(総会及び理事会における書面表記等)</p> <p>第9条 やむを得ない理由により、総会に出席できない会員は、他の会員を代理人として表決を委任することができる。この場合において、第7条第2項及び第3項の規定の適用については、出席したものとみなす。</p> <p>2 前項の規定は、理事会について準用する。この場合において、同項中「総会」とあるのは「理事会」と、会員とあるのは「理事」と、「第7条第2項及び第3項」とあるのは「<u>前条第6項及び第7項</u>」と読み替えるものとする。</p> <p>(会則の変更)</p> <p>第13条 この会則は、総会の議決により変更することができる。</p> | <p>(事業)</p> <p>第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 会員相互のパートナーシップとネットワークを形成するための事業に関すること。 ・ 会員それぞれが役割を理解し協働して行う事業に関すること。 ・ 環境に関する情報提供及び普及啓発に関すること。 ・ その他目的達成のために必要な事業に関すること。 <p>(総会及び理事会における書面表記等)</p> <p>第9条 やむを得ない理由により、総会に出席できない会員は、他の会員を代理人として表決を委任することができる。この場合において、第7条第2項及び第3項の規定の適用については、出席したものとみなす。</p> <p>2 前項の規定は、理事会について準用する。この場合において、同項中「総会」とあるのは「理事会」と、会員とあるのは「理事」と、「第7条第2項及び第3項」とあるのは「<u>前条第5項及び第6項</u>」と読み替えるものとする。</p> <p>(会則の改正)</p> <p>第13条 この会則は、総会の議決により改正することができる。</p> <p>附 則</p> <p>この会則は、平成26年5月24日から施行する。</p> |

議案第5号

2014年度事業計画について

～2014年度事業計画(案)～

1. 2014年度の基本方針及び全体事業

2014年度においてもこれまでと同様、本会の目的である「川越市環境基本計画に基づき、市民、事業者、行政、さらに民間団体がパートナーシップを形成し、それぞれが役割を理解しつつ実行できるよう、協働して行う事業について情報提供や調整を図ることにより、地域ぐるみで本市の望ましい環境像実現のための取組を活発にすること」に基づいて事業を実施します。15期目を迎えた本会の発展のために、交流事業や普及・啓発事業の充実を図ります。また、全体事業を運営する「事業運営委員会」は、主要行事において実行委員会を設置して、分掌により事業の責任の明確化と充実を図ります。以下に、5つの事業についての基本方針と全体事業を中心とした具体的な事業を記します。

- (1) **【交流事業】**2月に「第13回かわごえ環境フォーラム」を実施し、環境活動報告会と広く会員内外の方が参加できるワークショップを実施します。その他、懇親会等の会員間の交流行事を実施します。
- (2) **【普及・啓発事業】**7月19日に開催される「エコプロダクツ川越2014」に会員団体等と共同出展して、広く市民に環境行動の普及・啓発を図ります。また、ボランティアの機会の提供と地域への啓発のために、まち美化活動を例年通り7月(郊外)・10月(川越まつり)・12月(中心市街地)に実施します。その他、10月5日に行われる「2014アースデイ・イン・川越 立門前」、11月~~8~~¹⁵日に行われる「第14回北公民館かんきょう祭り」など、川越市内外で行われる普及・啓発イベントに積極的に参加します。行事以外にも、エコ暮らし(緑のカーテン、エコドライブ、ごみの減量など)、クールスポットなど、広報を通じて普及・啓発事業を推進します。
- (3) **【調査・研究事業】**全国的に実施する日に合わせて、6月8日に「川の一斉水質調査」を実施するとともに、荒川流域ネットワーク等の流域団体と協力してその他の調査・研究事業を実施します。また、埼玉県の実業である「県民参加生き物モニタリング調査」に引き続き参加します。さらに、川越市が実施する市内動植物のデータベース化やヒートアイランド調査等の環境調査に協力するとともに、平成27年度に目標年度を迎える『第二次川越市環境基本計画』及び『川越市環境行動計画「かわごえアジェンダ21」』の見直しに向けた勉強会を、これらの計画の推進組織である本会として開催します。
- (4) **【学習支援事業】**総合的学習の時間、家庭教育学級等における学校の環境学習を支援します。また、保育園・幼稚園など、未就学児童を対象にした幼児向け環境教育プログラムを検討・作成します。さらに、市民の環境学習機会の提供として、講演会・見学会・自然観察会などの行事を継続して開催します。
- (5) **【広報・情報事業】**本会や会員が主催した行事、会員等からの活動報告などを取りまとめて「月刊かわごえ環境ネット」を毎月発行し、情報の蓄積と情報共有を図ります。また、Webサイトの運営とソーシャル・ネットワーキング・サービスの活用によって、環境に関する人的交流を促進します。また、かわごえ環境フォーラムの開催に合わせて『かわごえ環境活動報告集』を発行し、市民・民間団体・事業者等の環境活動に関する情報の集積を図ります。

2. 広報委員会

引き続き毎月の「月刊かわごえ環境ネット」の定期発行に努力し、内容的にも市民に親

しまれる工夫を一層強めていきます。ホームページや Twitter 等の IT ツールを活用しながら、15 年前の本会の創立時の熱気を取り戻すよう、内容に工夫を凝らします。川越市環境基本計画の見直しは、本会の主導で市民参加の実をあげられるよう、期待される広報の実現に、会員の協力を得て努力していきます。

3. 社会環境部会

①本会全体事業への参画

川の一斉水質調査、エコプロダクツ川越 2014、郊外クリーン活動、2014 アースデイ・イン・川越 立門前、川越まつりまち美化活動、第 14 回北公民館かんきょう祭り、中心市街地歳末まち美化活動、第 13 回かわごえ環境フォーラム等に積極参加し活動します。特に、エコプロダクツ川越 2014 及び 2014 アースデイ・イン・川越 立門前では、社会環境部会として来場者参加のデモンストレーションを行って市民啓発を行います。

②部会全体事業

1) 環境施設巡り

例年、環境施設を主体に、見学会を実施しており、今年度も適切な施設を選んで、9 月に実施する予定です。

2) 環境講演会

地球温暖化対策等、後世に良い環境を残すことは我々の使命です。物価上昇の折から、経済的で地球環境にやさしい、かしこいエコ暮らしは必須課題です。身につく講演会を 11 月に実施します。

3) エコドライブ教習会

経済的で、地球環境に優しく、安全運転につながるエコドライブ教習会を、川越市環境政策課と協働で 12 月に実施します。

③個別活動

1) 緑のカーテン普及活動

ゴーヤ、パッションフルーツ、フウセンカズラ等を用いた緑のカーテンの普及に努めます。

2) まち美化の促進

街中の月 4 回の清掃活動、イベント時の清掃活動、郊外清掃等積極的に参加して美化活動を行います。

3) 川の再生・保全活動

新河岸川の市内上中下流部における清掃、南小畔川の河南親水公園の保全、小学校の川遊び支援、川の生き物調査等、県民活動に呼応した活動を行います。

4) クールスポットの活用促進

街中緑地、市民の森等の酷暑時の活用促進を行います。

5) ごみ減量と集積所の美化活動

増加傾向にあるごみの減量化促進と集積所の汚れ対策を行います。

6) その他

会員各自が、それぞれ環境活動を継続します。

4. 自然環境部会

自然環境部会のメインテーマは、①生物多様性の保全と再生、②子どもと自然をつなぐ、の 2 つです。川越に残る良好な自然環境の探求と記録、そして保全・再生への取り組みです。そしてそれを我々世代だけの知見とせず、次世代の子どもたちへつなぎたいということです。今年度の具体的な事業計画は以下のとおりです。

| 項目 | 実施内容 | 実施場所・時期 |
|-----------------|---|--|
| 1. 行政とのパートナーシップ | ① 川越市の生き物データベース作成協力 ② 県民参加モニタリング調査 協力 | 毎月定例 申し込み済み 4/15 (火) |
| 2 調査活動 | ① 水生動植物の調査 ・魚類調査など ② 雑木林などの調査 ・動植物調査 データベース、モニタリング 連動) ③ 田んぼの生き物調査 ③ チョウの調査(ゼフィルス) | ・「(仮称)川越市森林公園」計画地 ・池辺公園 ・仙波河岸史跡公園 5/14 (水)、7/23 (水)、10/8 (水) 吉田地域、笠幡地域、稲田地域 ・安比奈親水公園 6月初旬 |
| 3. 保全再生活動 | ① 雑木林の在来希少種を残す保全活動 ② 池辺公園 | ・「(仮称)川越市森林公園」計画地 公有地エリア 毎月第4月曜日 ・毎月第1火曜日 |
| 4. 自然観察会 | ① 新緑の雑木林観察会」 ② キノコの観察会」 ③ 虫の観察会」 ④ 夏の雑木林観察会」 | ・「(仮称)川越市森林公園」計画地 5/18 (日) ・「(仮称)川越市森林公園」計画地 7/6 (日) ・「(仮称)川越市森林公園」計画地 7/27 (日) ・市民の森8号地、池辺公園 8/9日 (土)か10 (日) |
| 5. イベント | ① チョウの調査(学習会 ゼフィルス) ①② 田んぼの生き物調査 ②③ 人間川地曳綱 荒川流域ネットワークと共催) ③④ 狭山丘陵自然探索ツアー | 安比奈親水公園 6月初旬 ・みなみかぜ田んぼ 6/28 (土) ・高梨さんの田んぼ 6/29 (日) (笠幡の田んぼ 6/29 (日)午後) ・東上線鉄橋下 8/30 (土) ・バスツアー 11月上旬 |
| 6. 学校教育支援 | 昨年は上戸小、高階北小 | ・要請があれば随時 |
| 7. 法令勉強会 | 生物多様性保全地域戦略・川越版策定に向けて 日々失われていく自然環境を保全するために、法令の勉強会を行う) | ・定例部会の終わり30分を当てる 議事優先、できないこともあり |

5. かわごえアジェンダ 21 推進委員会

市民向けのイベントや講座、大学において『環境に配慮した行動チェックシート（市民編）』アンケートを実施し、参加者に対して環境に配慮した行動の啓発を図るとともに、結果を集計して環境に配慮した行動の普及状況を把握します。また、川越市が発行する『平成26年度版 かわごえの環境（第8号）』における「市民・事業者の環境への取組状況」の内容を検討し、執筆を行います。さらに、平成27年度に目標年度を迎える第二次川越市環境基本計画及び川越市環境行動計画『かわごえアジェンダ21』の見直しに向けた勉強会を連続開催し、その結果を川越市に提言書として報告します。

議案第6号

2014年度予算について

～2014年度予算(案)～

収入

単位:円

| 項 | 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 説明 |
|-----|-----|-----------|-----------|---------|---|
| 会費 | | 218,000 | 223,000 | △ 5,000 | |
| | 会費 | 218,000 | 223,000 | △ 5,000 | 個人:1,000円×102人、民間団体等:2,000円×58団体 |
| 委託金 | | 60,000 | 60,000 | 0 | |
| | 委託金 | 60,000 | 60,000 | 0 | 県民参加生き物モニタリング調査委託金 |
| 補助金 | | 400,000 | 400,000 | 0 | |
| | 補助金 | 400,000 | 400,000 | 0 | 川越市より補助金 |
| 協賛金 | | 175,000 | 150,000 | 25,000 | |
| | 協賛金 | 175,000 | 150,000 | 25,000 | かわごえ環境フォーラム協賛金 |
| 繰越金 | | 249,885 | 256,395 | △ 6,510 | |
| | 繰越金 | 249,885 | 256,395 | △ 6,510 | 2013年度より繰越 |
| 諸収入 | | 70,029 | 73,038 | △ 3,009 | |
| | 諸収入 | 70,029 | 73,038 | △ 3,009 | 参加費70,000円(社会環境部会30,000+自然環境部会40,000円)、利息29円) |
| 合計 | | 1,172,914 | 1,162,433 | 10,481 | |

支出

| 項 | 目 | 本年度予算額 | 前年度予算額 | 比較増減 | 説明 |
|-----|------|-----------|-----------|---------|---------------------|
| 事業費 | | 431,000 | 418,000 | 13,000 | |
| | 活動費 | 146,000 | 146,000 | 0 | 年会費、サーバ更新料、保険料他 |
| | 報償費 | 105,000 | 102,000 | 3,000 | 講師謝礼 |
| | 交通費 | 120,000 | 110,000 | 10,000 | バス借上げ代他 |
| | 県事業費 | 60,000 | 60,000 | 0 | 県民参加生き物モニタリング調査事業費 |
| 会議費 | | 3,000 | 3,000 | 0 | |
| | 会議費 | 3,000 | 3,000 | 0 | 会場使用料 |
| 事務費 | | 539,000 | 537,000 | 2,000 | |
| | 需用費 | 343,000 | 341,000 | 2,000 | コピー用紙代、コピー代、その他消耗品他 |
| | 役務費 | 196,000 | 196,000 | 0 | 宅配便運賃、切手代他 |
| 予備費 | | 199,914 | 204,433 | △ 4,519 | |
| | 予備費 | 199,914 | 204,433 | △ 4,519 | |
| 合計 | | 1,172,914 | 1,162,433 | 10,481 | |